

令和4年産 温州みかん 樹に応じた摘果で品質向上へ

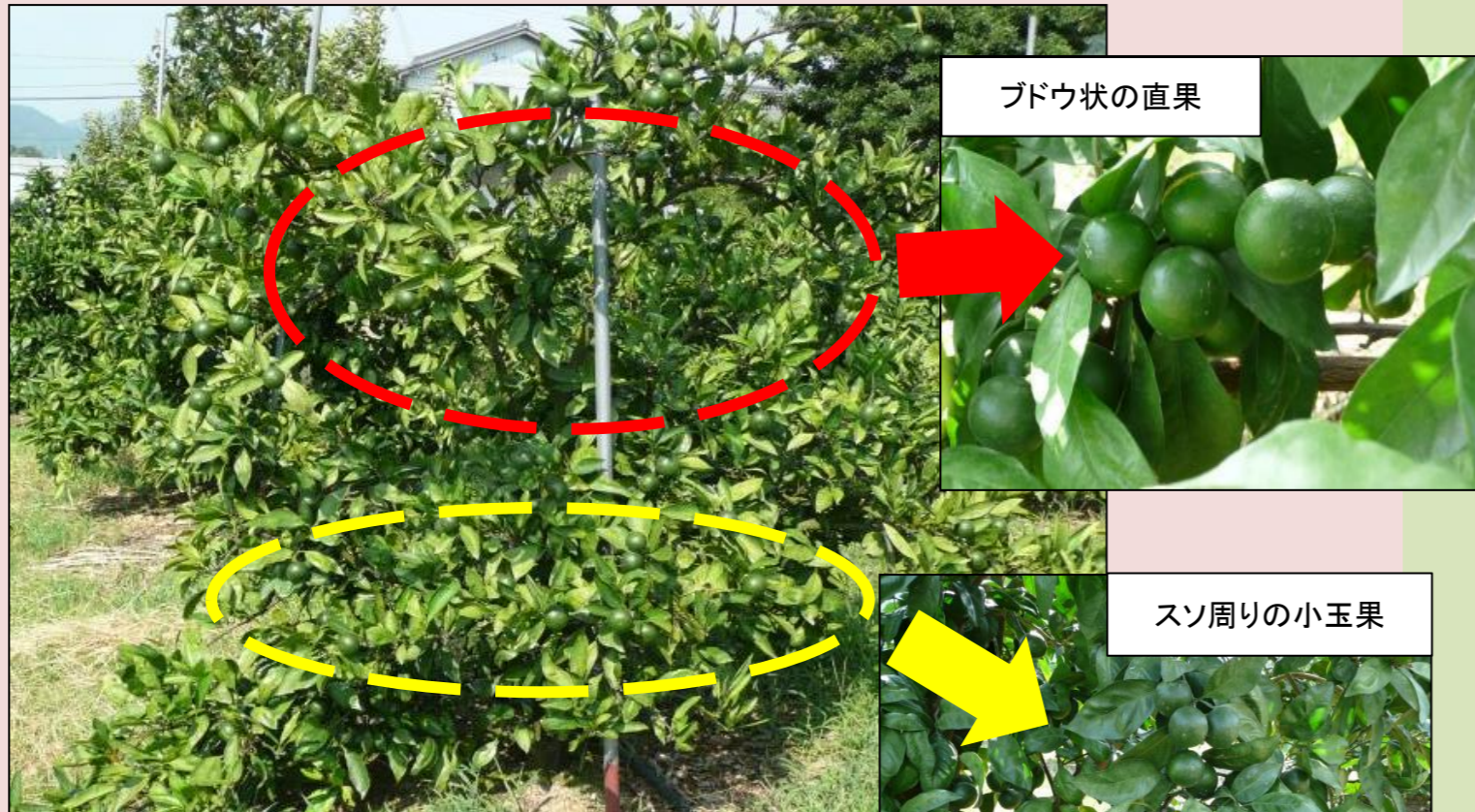
本年度の温州みかんの着花量は、極早生、早生、普通ともに、前年・平年より多く表年型となっています。満開日は極早生で5月6日、早生5月6日、普通5月7日といずれも平年に比べ2～4日早くなりました。

園地・樹ごとのバラツキが大きいいため、それぞれの樹に合わせた管理が必要となります。

着果量[多～中]の樹

着果が多い樹の粗摘果では、下記の果実を摘果して下さい

- ・樹冠内部の小玉果を除去
- ・下向きブドウ状の直果を基部から除去
- ・スソ周りの小玉果、奇形果、傷害果、病虫害被害果など徹底的に除去



ブドウ状の直果

スソ周りの小玉果

着果量[少]の樹 (今年は少ない)

着果量の少ない樹では粗摘果を控えましょう
着果ストレスを付与することで、大玉果生産が抑制され品質が向上します。
翌年以降の隔年結果防止のため着果ストレスを与え、後半～収穫前に摘果して下さい。

仕上げ摘果



日焼け果

日焼け果は、仕上げ摘果、樹上選別時に摘果しましょう。

病虫害被害果

仕上げ摘果を重視しましょう

極早生で20枚に1果、早生、中生で20～25枚に1果、晩生で25枚に1果を樹ごとの樹勢、着果量を見て、摘果しましょう。

収穫前の適正着果量の状態



収穫の40日前頃までに、適正葉果比になるように仕上げましょう